



今月の予定

委員会 7月7日
サロン 7月12, 26日

委員会だより

<6月7日(日) 12名出席>

【1】財務報告：98年5月度決算報告(甲斐さん)
特記事項：◆一般会計の5月単月収支は-9,940円。
ここ3ヶ月ほど、マイナス単月収支が続いている
(月定献金納入遅れ、ミサ人数減少)
◆一粒会の6/2現在の累計集計状況は253,753円

【2】議題：

- (1) 山崎神父様の日本鉄道カトリックの会ご出張：留守当番ご苦労様でした。
- (2) 山崎神父様の霊名の祝日(6/29)のお祝：霊的花束は、6/21に締め、6/28に差し上げる。
- (3) 例年通り、前庭の手入れを行う(壮年会で別途計画する；婦人会からの要請)。
- (4) 聖堂入口のマリア様の「メイクアップ」(別途検討する；石井さんからの要請)。
- (5) 信徒名簿改訂作業の状況：
婦人会中心に内容チェックをやって頂いた。これを盛込んだ第2次原稿を作成する(小野さん)
- (6) バザー：
◆バザー委員：壮年会から上野さん、宮崎さん、婦人会から小山(利)さん、下村さん。
◆バザー委員会：6月20日の10時より開催。
- (7) 6月7日に、第5地区宣教委員会が開催される。
- (8) 7月12日に藤沢教会で第5地区一粒会集会実施。
- (9) 5月30日に、大船教会献堂式挙行。阿部、位田さん出席。祭壇を囲む形の素晴らしいお聖堂の由。
- (10) 5月24日に行われた「聖歌の集い」の報告
◆参加者実績123名。
◆11/3に金沢区民フェスティバル開催、ドボルザークのミサ曲を演奏。男性テナー、バリトンが不足とのこと。参加希望者は藤が岡教会小田さんに連絡を。
- (11) 青少年問題関連(石井さん)：6月27日(土)に、美底さん奥様を中心に、幼稚園の年中、年長組の子供を持つお母さんの集まりが行われる予定。

壮年会だより

<6月21日(日) 7名出席>

1. 財務報告(甲斐さん)：特記事項なし

お知らせ

転出

ミカエル 鈴木 富雄 セシリア 鈴木 矩子
〒565-0083 大阪府豊中市新千里西町2-22-1-403
Tel. (06)835-6631

ヤコブ 鈴木 順
〒210-0910 川崎市幸区南幸町2-4-2 ビクセル川崎 807号
Tel. (044)549-7502

結婚

ベトロ 小山 雄悟 6月13日 於 上智クルトゥムハイム
延興 和子(エンヨカズコ)

小田 喜規 6月27日 於 藤沢教会
テレジア 森田 香理

フィリポ 石崎 忠 6月14日 於 雪の下教会
鈴木 裕子

2. 教会前庭手入れ、聖堂入口のマリア様像メイク
◆7月12日(第2日曜日)ミサ後、マリア様像メイクの下準備(洗い、ペンキ剥がし等)を行います。
- ◆7月19日(第3日曜日)ミサ後、前庭手入れ及びマリア様像メイク(ペンキ塗り等)を行います。
都合のつく方は作業可能な衣服、長靴、軍手等準備の上お越し下さい。
3. バザー委員会について
◆第1回：6月20日(土曜日)、第2回：7月18日(土曜日)
4. 第5地区一粒会集会(7月12日、藤沢教会)小野さん出席の予定。尚小谷さんによれば「一粒会」でも信者の少子化、高齢化が課題とされており、本集会への子供(特に小学生)の参加を望むとのこと。

婦人会だより

<6月21日(日) 35名出席>

- ◆委員会報告
- ◆古着交換会について：5月31日(日)と6月7日(日)に行われた古着の販売では、48,610円の売り上げがありました。皆様の御協力有り難うございました。
- ◆バザーについて
①材料を婦人会より預かった方は作品を役員に直接手渡してください。
②自主製作品2点は提出時に“自主製作品”と表書きして箱に入れてください。
③新品の不要物の提出もお願いします。6月21日から聖堂前に箱を出しておきますのでよろしくお願ひします。9月末日迄
④古着リサイクル用品等は9月以降にお願いします。
⑤食堂関係委託品コーナーについて話し合い。
- ◆石川さんの手芸講習会は第四月曜日午後です。
- ◆婦人会より広報の月報を募集します。
- ◆同志会からのお知らせがありました。
- ◆一粒会の報告がありました。
- ◆要理の石井さんよりお知らせがありました。
- ◆転出：鈴木 矩子様(お知らせ参照)

バザー奉仕日は7月16日(木) 10:00~3:00です。午後から簡単な手芸講習も予定しております。

次回例会は7月19日(日)、次回当番はD地区です。

御逝去

通夜 6月24日 告別式 25日 於 戸塚斎場
森田 アキ (森田敏明氏 御母堂)

戸塚教会献堂式についてお願い

7月20日 戸塚教会献堂式が行われますが、戸塚教会信者数約200名、その他招待客も多数予定されており、聖堂内に入り切れない事態も予想されます。この場合外部テントも設置されるようですが、混雑緩和のため、御招待客以外の一般の方々は、出来れば他の日に来て頂けたらとの御要請がありましたので、宜しくお願ひ致します。
尚中和田教会からは、小野寺副委員長他、数名の出席を予定しております。



思いワズラウ事ばかり

山崎 正俊



四十三回目の全国集会に参加しました。土曜日の朝の御ミサは、緑の木に囲まれた芝生の庭ですませても、はじめの事故は、安心して歩いているときに起こったのです。上のほうを見ていて、五センチほどの段に気がつかず、前にぼったりということになり、左ヒザと右の手の中指と薬指をすりむき、左肩に掛けていたカメラを三十センチほど、投げ飛ばしました。袋入りの書類は右手で持ったままでしたから、指を二本、痛めただけですみました。防水救急バンを持っていた人がいて、傷の手当はそのあと、すぐに終わりましたので、タタミ敷きの和室の大広間での会議や食事には、ヒザを思うように使えなかったのですから、不自由でしたが、外見では変わったところは目立たず、すべて無事でした。

まえから、名前は聞いていたのですが、戸田神父様のお話は、これまでになかったほどの感銘を受けるものであったし、近くの教会と修道院の神父様のサービス精神には、大きな慰めと喜びを与えられました。富弘美術館と足尾銅山跡やその近くの人々の残された生活模様には、推察されたものでも、忘れ難い励まし、私の選んだ在り方に徹するための力強い模範が感じられました。いつものことながら、これは有り難いことに思われます。——思いがけなく直面した、何処にも文句の持ってゆき場がない出来事。じっと耐えながら、その与えられるものを頼りにするしかなく、感謝しながらのさきゆきとサイワイ。普通ならば、災いと云われそうなものを、それぞれの困難の受け留め方の応援歌として役立たせていただけたので、「ああ、よかったですね」と云えたのです。——そして、もう一方のほうは、お国のために押しつけられた犠牲、その当時としては、力なく泣くしかなかったことだったのに、御自分の全生涯を掛けて、共に声あげ続けてくださった「田中さん」がおられたので、「ほんとによかったです」有り難いことでした。——私には、ただ、まごまごしていることだけに終わりそう。

なんということか。日曜日の御ミサは、近くのフランシスコ会の修道院で捧げさせていただいたのですが、せっかく準備していたものは車の中に忘れ、何も役立てることはできないで、どうもすみませんということになってしまふ。それまでは使えると思っていたカメラは、なぜか、シャッターが動かなくなつて、何んにも記録できない。たった一枚、十字架の道行きの第十二留を、いくらか光線を入れながらも残せたのは、せめてものナグサメでした(これは後日わかったこと)。

ああ、どうしたことでしょう。このたびの大会、準備と運営を立派に果たしてくださったのに、この方たちは気がついたときには、予定どおりに姿が見えません。三日月村の紋次郎さん家(チ)の近くで、ゆきずまりました。どうも申し訳もありません。来年の湯布院(ユブイン)では、抜かりなくいたしますと、当てもならぬ反省をただけです。そして、二度あったことが三度になりませぬようにと祈りました。

いま、横浜教区では教区長の浜尾司教様のバチカンへの転出がきまり、九月にはローマに行かれます。次の教区長がきまるまで、まえに中和田教会の主任でもあり、いまは教区立の小学校の校長として逗子のほうにおられる木村義男神父様が、教区管理者を兼務されるのですが、すべて順調に進みますように。

(一九九八.六.一九)

小谷徳爾氏の俳句

(俳句誌「東桜」より)



元日や祝福ささげ聖マリア

敬虔なクリスチャンの作者は、元旦のミサに出席して司祭より祝福を受け、又聖母にお祈りをささげた後新しい年を迎える。信仰から遠ざかった私は今改めて自分の好きな聖句を反芻する。「明日の苦勞はその日だけで十分である。」

県の花山百合咲いて夏は来ぬ

作者は敬虔なクリスチャン。彼の住む県の花が山百合。彼の信ずるクリスト教ゆかりの百合がマドンナリー(パレスチナに自生する純白中輪のこの百合はヨーロッパでは有史以前より栽培)。百合と共にある至福の作者よ。

ロザリオを手繰る祈りの雲の峰

老ひは打て雲の峰越え去り過ぎぬ

七夕の織姫星は輝きつ

老妻と敬老ミサにあずかりて

八十に垂んとする作者は、ご夫婦お揃いで敬老の日のミサに出席した。そのよろこびが「あずかりて」に十分こめられている。

とうきびの大地は恵む神の糧

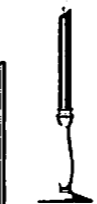
クリスチャンの作者は、唐黍畑の豊作に感謝して、次の「主の祈り」を捧げる。「天にましますわれらの父よ、われらに必要な糧を今日も与えて下さい」と。

カトリックメダイかけての七五三

メダイの意味について作者に伺ったところ、聖母像を刻印した蚕豆大のメダルとの事である。七五三に当たる子供達はメダイを首にかけ、一人一人神父の前に出て主の祝福を受ける。主は幼な子の心なくして天国に入るあたわらずと語った。幼な子のときから主の体である教会にあやかるとは幸いである。

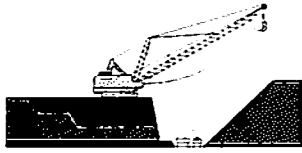
マラナタとメシア祝福クリスマス

イザヤ書は「イエスは私たちの罪を償うために傷つき、病を得て打ちくだかれ、これによって私たちが神との和解が成就し、平和が招来された」と説く。降誕祭が今日教会最大の行事である。周作氏が小説「深い河」で現代のクリストをインドに発見する物語は忘れ難い。



宮ヶ瀬ダム見学の話を聞いて

橋 幸雄



先月、婦人会でバス旅行に行かれた由。スノーピーバスを貸切って厚木方面に行ったとのこと。そのルートの中に宮ヶ瀬ダムがあり、ほぼ満水状態にまで冠水しておりダムサイトまでバスを乗入れ見学出来たとの事。私も2,3回現地を訪れたことがあり、だいたいの様相は把握可能であった。人工的であるにしろ深緑色をした無機質ともいえる湖水と整備された道路、橋梁、トンネル。特に最近では水辺を利用したアメニティーゾーンの創造。

私はダムについてはいろんな意味で思い入れがあり、話に興味尽きない。

ダムを造る事は、私の夢であり、願望でありロマンであった。日頃から地図に残る仕事をしたい、と思っている自分が、なんでも有りのダム工事は高嶺の花であった。千葉の鴨川に県最大の保谷ダムが1996年に完成した。堤体103,000m³、高さ41m、堤長さ198mの重力式コンクリートダムである。1991年自分の担当しているある工事が最終段階を迎えようとしているなか情報が入った。希望すれば、ただ山の中での仙人生活、自宅からの通勤は無理、5~10年の長期間別居。と考えあぐねている中、別の地元での高速道路が舞い込んで、夢は水泡に帰した。

話が個人的になってしまいました。話を元に戻して、ダムと呼ばれるものは世界に幾つあると思いますか。正確なデータは有りませんが20万個と言われています。一番多いのは中国で19,000個、ついで2番目は米国6,400個、3番目はインドで2600個、4番目が日本で2,500個。但し日本のダムは全部の貯水量を入れても米国のフーバーダム半個分の貯水量しかありません。日本は急峻な地形のうえに、流水距離が短く、すぐに海になります。また台風と梅雨に雨量が集中しています。世界平均年間970mmの雨量にたいして、日本は1,800mmと倍近くの降水量がありますが、ダムで貯水できるのは、ほんの数パーセント、ほとんどは雨は一気に海まで流出してしまいます。

昔から水を制するものは国を制すとして、治山、治水に時の権力者は力を注いできました。アンコールワットに代表される治水、灌漑施設。諸外国とは若干日本のダムはおもむきを異とし、治山、治水、農業工業用水、生活用水、発電用水として複合的に利用されています。最近では流末河川の閉塞による氾濫は時々耳にしますが、外国で発生している広域的な大氾濫は聞いていません。平野の少ない日本では昔から水を制する事に力を注いだ結果だと思えます。その努力は今でも延々と継続されています。たとえば急激な市街化による保水能力低下で保土ヶ谷区を流れる今井川周辺はA級浸水警戒区域に指定されており、対策として地下にダムが造られています。国道1号線狩場から権太坂の地下60mに直径12m長さ2,400mのダムを造り1時間50mm相当の雨でも浸水しない治水事業がおこなわれています。逆に渇水等により水を必要としている地域では積極的に貯水ダムが計画され造られています。特異な例としては富士山の雪解け水、地下水の流出防止の為に地表面から地下壁を作り地下水のダムが造られています。

水はわれわれの生活に必要な不可分のものです。また水を制しなければ人は生きられない。その意味では人は自然と共存ができないのでは…。人類が生き、繁栄するために自然と喧嘩し、破壊している。オゾン層の破壊。窒素酸化物地球温暖化、酸性雨、最近では環境ホルモンによる生体系の破壊。その上にインド、パキスタンでは核実験。……………神が創られたもう自然がおかされている。

われわれは何をなさねばならないのか

宮ヶ瀬ダム見学の話を聞いての、思い付くままの雑感。



ミサ当番表 (98年7、8月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
7/5	年間第十四主日	宮崎	美底	8/2	年間第十八主日	小野	美底
7/12	年間第十五主日	青年会	森田	8/9	年間第十九主日	青年会	森田
7/19	年間第十六主日	婦人会D地区	大宮	8/16	年間第二十主日	婦人会役員	大宮
7/26	年間第十七主日	岩淵	岩淵	8/23	年間第二十一主日	上野	岩淵
				8/30	年間第二十二主日	婦人会役員	美底

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原:TEL 802-6258)

聖歌の集い

小谷 徳爾



横浜教区藤が丘教会、献堂式には清水前教会委員長がご出席され、お話も伺いました。

今般1998.4.26 第7回横浜地区聖歌の集い記念ミサが行われました。

このレポートをと上野壮年会長から伺い、皆様はこの機会に、是非横浜教区聖歌の集いの歴史を知って頂いて、更にご認識の上、ご支援、ご参加の呼び掛けをと、拙いペンをとります。

◎聖歌の集いの発祥

山手教会、昭和8年チェコ人建築家JJSワガー設計聖堂聖歌隊、つまり山手教会聖歌隊の呼びかけでした。

◎参加小教区、参加団体

- 山手教会聖歌隊
- 金沢教会聖歌隊
- 戸塚教会聖歌隊
- 二俣川教会聖歌隊
- 鍛冶ヶ谷教会聖歌隊
- 保土ヶ谷教会聖歌隊
- 藤が丘教会聖歌隊(今回初参加)
- 戸部教会聖歌隊
- 港南教会聖歌隊
- コールセシリア
- 中和田教会"神の母マリア"

◎記念ミサ開催教会名(開催月日省略)

- 第1回から第4回迄、山手教会聖堂
- 第4回は、講師橋本周子先生、おいで下された宗教音楽家、聖グレゴリオの家主幹であり、武蔵野音楽大学音楽家終了後ケルン国立音大で宗教音楽、発声、オルガン、合唱指揮を修められた。

◆第5回 鍛冶ヶ谷教会聖堂

ご来賓に独唱、新垣寿子先生(白百合女子大助教授新垣壬敏先生夫人)、オルガン伴奏は長らく海外研修資格を有されるご令嬢、合唱指揮、成田初穂様、一粒会委員でもあられる。

新垣壬敏先生は、「マラナタ」作詞作曲「ごらんよ空の鳥」作曲者でもあられる。

◆第6回 二俣川教会聖堂

特に守護26聖人の二俣川教会で、26聖人殉教400年、二俣川教会信徒様のお一人、作詞作曲「26聖人」コーラスの途中で涙が止まらなかった。

「長崎は殉教の町二月尽」(徳爾)

◆第7回 藤ヶ丘教会聖堂

カプチンフランシスコ会ペトロ神父様司式記念ミサは、新しく音響を考慮された聖堂か、神父様の司式、オルガン、合唱、ソプラノ、アルト、テノール、バスとても素晴らしく響き、回を重ね7年目、各パート円熟漂う感であった。

東急田園都市線、花の名の駅名通り、住む人、駅、街、藤の薄い紫色のような藤ヶ丘教会坂を登りつめ、美しい若葉のトンネル、住人の心の憩いとも思う。

◎むすび

来年はいよいよ第8回、8年目。今回、中和田教会と聖歌の集い事務局、各小教区との密なるパイプのお役と集いへの情熱お一人に荷を負わせ、いつも気持ちよく行動して下さる教会委員石井悠子様へ心から感謝を忘れてはならない。

どうか、歌は感性、参加して下さい。